

「ありがとう」を伝えたくて

次代を担う若者に希望を一。

第二次大戦後、疲弊した若者を励ますため埼玉県蕨町（現蕨市）の青年団が始めた「青年祭」はやがて全国に波及し、現在の成人式へと姿を変えた。

2017年1月8日。澄みわたる青空のもと、一関市で1,244人の新成人が大人への一歩を踏み出した。



重ねた歳月、刻んだ年輪 百年目の寿

大正・昭和・平成一。
3つの時代を駆け抜け、歩んできた1世紀の軌跡。
たくさんの人たちの笑顔に囲まれて、
100歳の誕生日を迎えた6人を紹介します。

菅原幾美子さん

Sugawara Kimiko



大東町大原
大正6年1月3日生まれ

5人の子供を育てた幾美子さん。30歳から80歳頃まで農業に従事しました。趣味は約20年続けた詩吟です。長男の松川貞一さん(78)

は「母は恵まれた人生を送ってきました」と振り返り、長寿の秘けつについて「自然に囲まれてのびのびと過ごしたおかげ」と語ってくれました。

千葉いつみさん

Chiba Itsumi



東山町長坂
大正5年12月26日生まれ

子供が4人、孫が8人、ひ孫が8人、やしゃごが1人いるいつみさん。看護師や保健師として働きました。新聞や本をよく読み、世の中のこと

を勉強していたといいます。誕生会には、親族が遠方から駆けつけて祝福。長男の宏さん(73)は「気丈な性格が長生きの秘けつ」と話しました。

佐藤一さん

Sato Hashime



巖美町
大正6年1月15日生まれ

一さんは、老人クラブの地区会長や民生委員を歴任。平成5年には、旧市の市勢功労者として表彰されました。退職後は、はり絵や墨絵な

どに挑戦。独学の竹細工は、道の駅に出店するほどの腕前です。現在は趣味のクロスワードパズルに没頭するなど、いつまでも挑戦心を忘れません。

及川ハシメさん

Oikawa Hashime



東山町松川
大正5年12月30日生まれ

20歳で賢治さんと結婚。水稲などの農業に従事しながら、子供8人を育てました。長寿の秘けつは、前向きな性格。笑顔振りまき、周囲

を和ませていたといいます。四男の政男さん(71)は「とてもよく笑う母。その笑顔が家族の癒やしだった」と話してくれました。

千葉智加子さん

Chiba Chikako



千厩町清田
大正6年1月15日生まれ

20歳で亮一さんと結婚し、一緒に農業を営みました。旅行が好きで、若い頃は日本中を旅したという智加子さん。気丈で、くよくよし

ない性格が魅力です。記念日には、家族に囲まれながら「長生きしてよかった」とにっこり。何度も「ありがとう」と感謝していました。

栗原正治さん

Kurihara Masaji



高崎町
大正6年1月3日生まれ

国鉄で働く傍ら、タンスや下駄箱などの家具作りに励んだ正治さん。今は絵や貼り絵を趣味にしています。季節にちなんだ作品を作り、周りの

人にプレゼントしています。長生きの秘けつは「腹八分目になんでも食べること」と笑い「無理をせず自然に生きていきたい」と話していました。